

事業者向け 児童発達支援自己評価表

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			安全面を考慮し整理整頓している。
	2	職員配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			状況により法令以上の人員配置などもしている
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			情報伝達に絵カードやひらがな表記を活用しているが、様々な状況を想定した絵カードの種類増加を今後していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>			転倒・接触の危険性のある備品等は安全クッションをつけたり鍵付きの倉庫に保管する。使用の必要性があるときには職員が必ず近くにいて注意して使用させている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			今後も継続して会議・振り返りを行う。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			年2回の保護者会を継続して行い、保護者の意向等を把握、業務改善につなげる。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			<input type="radio"/>	オープンしてまもないため、これからHPに公開し、評価表をもとに支援の質の改善を行う。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	業務改善につなげていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			地域の研修情報収集と定期的な内部研修を継続して行う。外部研修も参加している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			保護者面談・アセスメントの更新を定期的に行う。
	11	子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			利用者の状況に合わせてアセスメントの項目見直しを検討していく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>			家族支援・地域支援の項目を適切に選択し具体的な支援内容を設定する。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>			日々の振り返りや職員会議にて支援計画の内容を職員と情報共有・検討する。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			定期的に職員会議を開催し、活動プログラムを立案する。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			職員会議にてプログラムの内容が固定化しないように工夫して検討する。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			子どもの状況に合わせて支援計画を作成。目標の達成を見極めて更新していく。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日の打ち合わせをを継続的に行う。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後と翌日の打ち合わせ時に振り返りを行う。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			ケース記録をもとに支援の検証・改善につなげる。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			継続して支援計画の見直しを全員で行う。
	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			継続して子どもの状況を把握し担当者会議に参画する。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			幅広い関係機関との連携して支援を行っていく。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○	該当者なし
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	該当者なし
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			こども園・幼稚園・支援学校幼児部との相互理解を継続して図っていく。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			今後積極的に情報共有を図る。
児童発達支援事業の運営	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			専門機関と連携し、助言や研修を受けていく。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後積極的に行う。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	今後積極的に参加したい。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談や懇談会にて子どもの状況を伝えあい、共通理解を持つ。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			継続して家族支援を行う。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			今後も契約時に説明するとともに、変更がある際にも説明を行う。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」をしながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			継続して行う。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的に保護者面談・懇談会を行う。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			年に2回保護者懇談会を開催する。
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談窓口や対応の体制を整備し、子どもや保護者への周知を行う。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動内容が分かりやすい会報を作成し配布する。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いについて職員に周知し取り扱いに十分注意する。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			情報伝達に絵カードやひらがな表記を活用しているが、様々な状況を想定した絵カードの種類増加を今後していく。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			今後も定期的に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図る。
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			保護者への周知が不十分であるため、会報等でマニュアル周知を行う。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的な防災訓練を行う。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			定期的にアセスメントの更新、状況確認を行う。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			定期的に状況確認を行う。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			作成・周知の徹底を行う。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に研修を実施する。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			必要な子は現状ないが、契約時に外出支援などの際には、安全を優先するため、行う旨を説明している。